

5. 安全利用に係る同一商品の交換頻度実態調査

5-1. 調査概要

(1) 調査の目的

福祉用具貸与におけるモニタリングは、福祉用具の貸与開始から中止・回収に至る間に福祉用具専門相談員と関係する他職種によって利用状況を把握する行為であり、利用者の状態像の変化等を確認し、その際に得られた情報を評価し、継続、追加、交換、中止等の判断を行っている。

これまでに、介護保険総合データベースを用いて TAIS コードに基づく福祉用具の種目別平均貸与期間（連続貸与期間）についての調査は実施されてきたが、同一商品・同一 TAIS コードの商品への交換実態については、各福祉用具貸与事業所内で管理されている情報であることから把握することができなかった。本調査では、福祉用具専門相談員が実施しているモニタリングを通じ、利用者の安全を確保するために利用者宅でのメンテナンスだけではなく、同一商品への交換を行い、衛生面の確保や適時・適切な利用の確保を行っている実態を把握し、介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目の在り方について検討するための基礎資料を収集することを目的とし、福祉用具の貸与開始から同一商品・同一 TAIS コードの商品への交換に至った利用者ごとの貸与履歴（商品の入出庫履歴）を収集し、福祉用具サービスにおける交換件数、要介護度ごとの交換割合、利用者数、交換までの貸与月数、交換理由等の集計を行った。

(2) 調査対象

当協会の理事会社（福祉用具貸与事業者）7 事業者

(3) データ収集方法

メール等により Excel データ、または CSV データを事務局宛てに送付

(4) データ収集期間

令和3年8月2日（月）～令和3年8月31日（火）

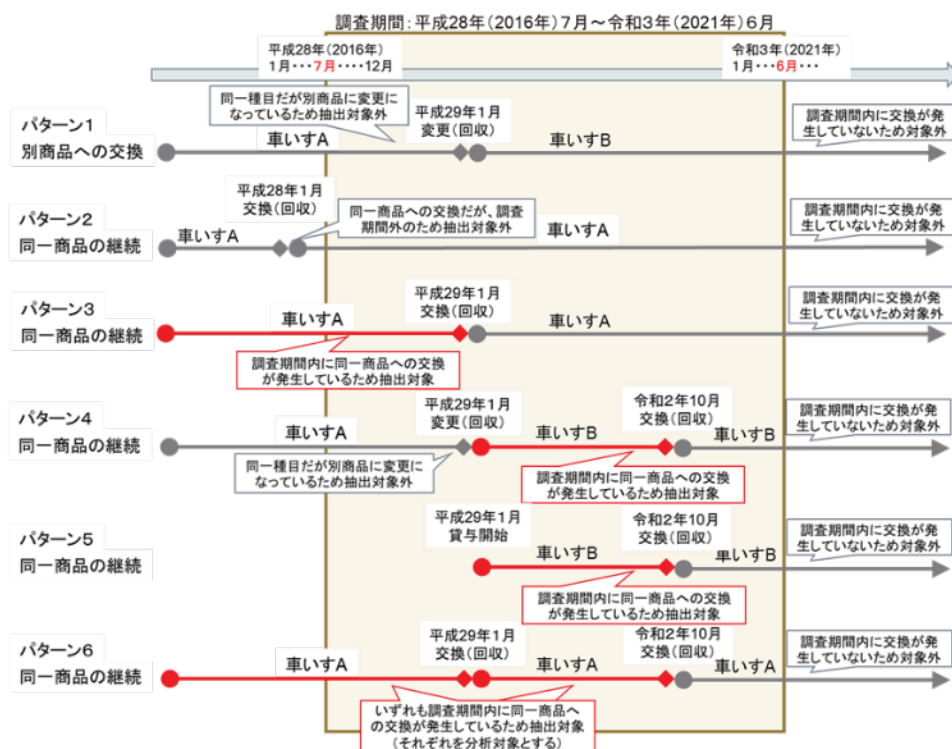
(5) データ抽出の条件及びデータ内容

主な調査項目は以下のとおり。データの選定条件、およびデータ内容については、
図表 112～図表 115 のとおりイメージを付した。

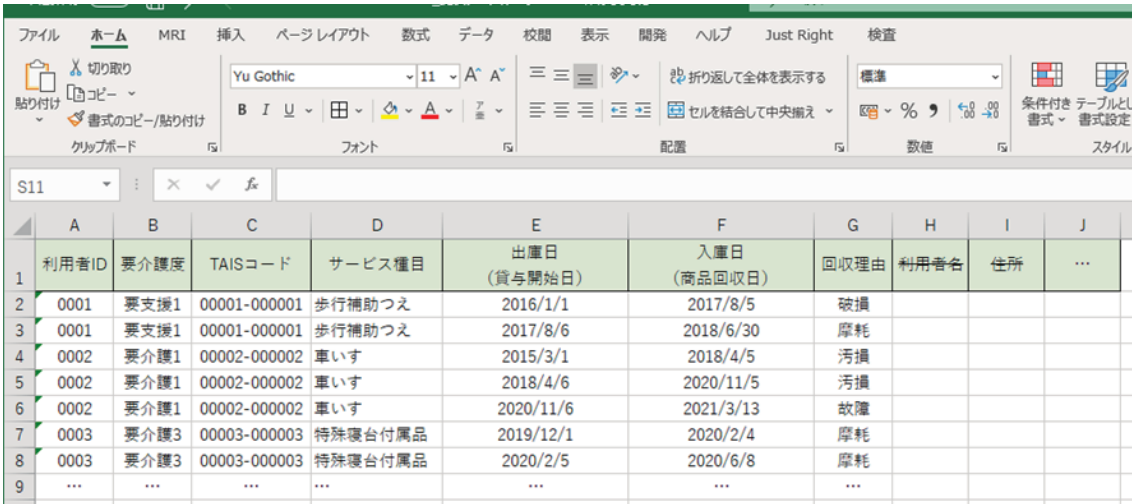
図表 112 主な調査項目

調査項目		
データの選定条件	期間	平成 28 年（2016 年） 7 月～ 令和 3 年（2021 年） 6 月（過去 5 年間）
	条件	上記期間内に <u>同一商品（同一 TAIS コードの商品）</u> への交換が行われた福祉用具貸与品目に関連するデータ。 ※身体状況の変化により同一種目の別商品や別の種目への交換や、貸与中止により回収された商品データは除外。
データ内容	必須項目	・ 利用者 ID ・ 要介護度 ・ TAIS コード ・ 福祉用具種目 ・ 出庫日（貸与開始日） ・ 入庫日（商品回収日）
	記録がある場合の回収項目	・ 商品回収理由 ・ 商品交換時の要介護度 ・ 対象期間の要介護度変更回数

図表 113 データ抽出条件のイメージ

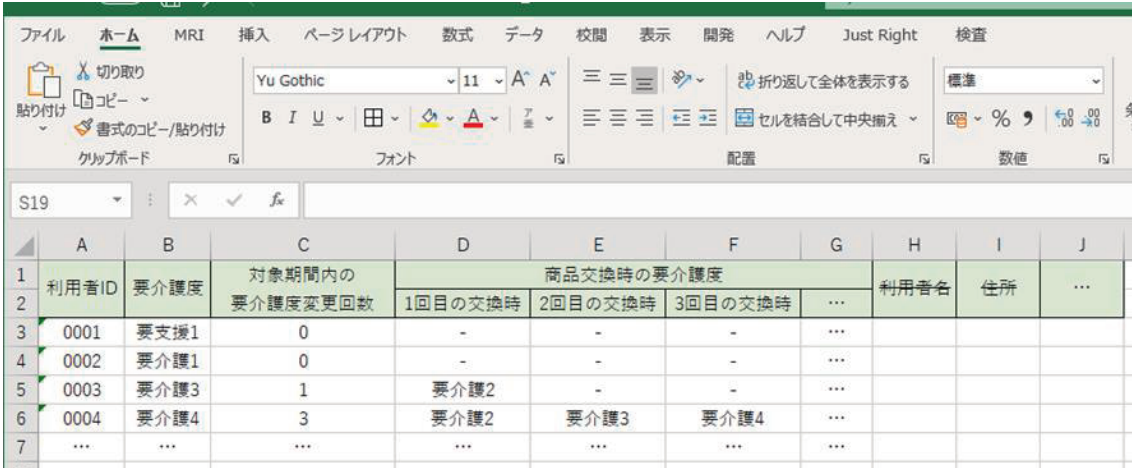


図表 114 調査項目のイメージ（必須項目）



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	利用者ID	要介護度	TAISコード	サービス種目	出庫日 (貸与開始日)	入庫日 (商品回収日)	回収理由	利用者名	住所	...
2	0001	要支援1	00001-000001	歩行補助つえ	2016/1/1	2017/8/5	破損			
3	0001	要支援1	00001-000001	歩行補助つえ	2017/8/6	2018/6/30	摩耗			
4	0002	要介護1	00002-000002	車いす	2015/3/1	2018/4/5	汚損			
5	0002	要介護1	00002-000002	車いす	2018/4/6	2020/11/5	汚損			
6	0002	要介護1	00002-000002	車いす	2020/11/6	2021/3/13	故障			
7	0003	要介護3	00003-000003	特殊寝台付属品	2019/12/1	2020/2/4	摩耗			
8	0003	要介護3	00003-000003	特殊寝台付属品	2020/2/5	2020/6/8	摩耗			
9	...	...	...	...	...	...	...			

図表 115 調査項目のイメージ（記録がある場合の回収項目）



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	利用者ID	要介護度	対象期間内の 要介護度変更回数	商品交換時の要介護度			...	利用者名	住所	...
2				1回目の交換時	2回目の交換時	3回目の交換時				
3	0001	要支援1	0	-	-	-	...			
4	0002	要介護1	0	-	-	-	...			
5	0003	要介護3	1	要介護2	-	-	...			
6	0004	要介護4	3	要介護2	要介護3	要介護4	...			
7	...	...	...	...	...	...	...			

なお、本業務では同一 TAIS コードの商品への交換発生件数に焦点を当てて分析を行ったが、その前段として、全貸与実績件数や同一種目（同一 TAIS に限らない）への交換件数の規模を把握するため、下記のとおり、データ種別ごとの件数を抽出し、割合を算出した。ただし、集計作業の都合上、対象期間を 2020 年 7 月～2021 年 6 月の 1 年間とし、事業者 1 社のみの値を用いた。

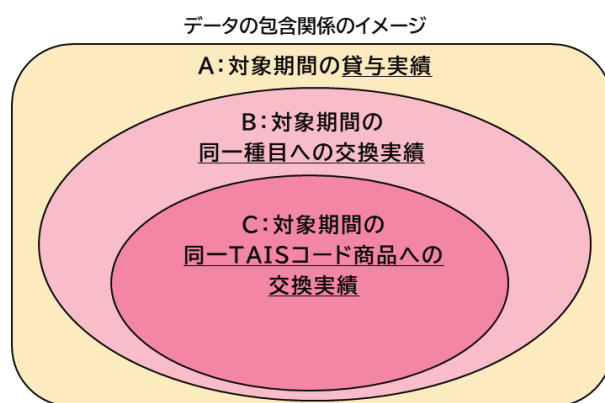
データ種別については図表 116 のとおり定義し、データの包含関係については図表 117 のとおりイメージを付した。

データ間の割合については図表 118 のとおりまとめた。このことから、対象期間における同一 TAIS コード商品への交換件数は、全貸与件数に対しては 7%程度、同一種目の商品への交換件数に対しては 59%程度を占めることがわかる。

図表 116 データの種別と定義

データの種別	定義	件数
A：貸与実績	対象期間における、交換の有無を問わない全貸与契約件数	36,462
B：A のうち、同一種目への交換実績	対象期間における、同一 TAIS コード商品であるかを問わない同一種目の商品への交換件数	4,544
C：B のうち、同一 TAIS コード商品への交換実績	対象期間における、同一 TAIS コードの商品への交換件数（本業務で分析対象とするデータ）	2,662

図表 117 データの包含関係のイメージ



※調査対象期間 = 2020年7月～2021年6月の1年間

図表 118 データの割合

データの計算式	割合
B/A	12.5%
C/A	7.3%
C/B	58.6%

5-2. データ分析の方法・結果の見方

(1) 分析の手法

各事業者より回収したデータに対し、下記のとおり、分析に係る整形処理を施した。

- ・ 必須項目の欠損データ、調査対象期間外のデータ、重複データの除外
- ・ 表記ゆれの統一
- ・ その他、貸与開始日と終了日の逆転等、不適当なデータの除外

これらの処理を施した後、各データに対し、入庫日（商品回収日）から出庫日（貸与開始日）を引くことで、貸与開始から交換に至るまでの貸与日数を算出し、さらにその貸与日数を 30 で除して貸与月数へ換算した。なお、貸与月数への換算は小数点以下切り上げとした。また、貸与月数が 0.5 か月以下（貸与日数が 15 日以下）のデータは、非選定等の理由により貸与の実態がないものと判断し、分析対象から除外した。

上記の分析手法におけるデータの呼称、およびデータ数について、図表 119、図表 120 にまとめた。なお、本分析では各事業者から回収したデータを統合（以下、「統合データ」と記載する。）して分析に用いているが、必須項目（貸与開始日）の欠損が大きい事業者 1 社については、集計結果の偏りを避けるため、統合データから除外した。

図表 120 の太枠内のデータが、本分析における分析対象である。

図表 119 データの種別と定義

用語	定義
回収データ	各事業者より回収したデータ。
有効データ	回収データに対し、分析に係る整形処理を施したデータ。
分析対象データ※	有効データに対し、貸与月数が 15 日以下のデータを除外したデータ。

図表 120 データ数

項目	統合データ（6 社）	個別データ※ ¹ （1 社）
回収データ数	223,990※ ²	25,993
回収データにおける利用者数	106,634	12,792
有効データ数	222,946 (回収データ比：99.5%)	8,793 (回収データ比：33.8%)
分析対象データ数 (貸与月数 0.5 以下を除外)	207,148 (回収データ比：92.4%)	8,492 (回収データ比：32.7%)
分析対象データにおける利用者数	99,911 (回収データ比：93.7%)	4,203 (回収データ比：32.9%)

※¹ 必須項目の欠損の多い事業者については、運用システムの都合上、調査対象期間以前の福祉用具の貸与開始日の抽出が困難であることが要因であった。

※² 統合データの 6 事業者のうち 1 事業者については、商品交換後の継続利用、または利用終了の記録も含めたデータの提出であったため、不要なデータを削除する処理を行い、他事業者のデータと条件を揃えた。

本分析における集計項目、および分析の概要は図表 121 に示すとおりである。

集計は、分析対象データに対し図表 122 のとおり福祉用具の種目、および要介護度別にデータを区分して行った。また、福祉用具の種目のうち、付属品（車いす付属品、特殊寝台付属品）、および手すりについては、用途に合わせてさらに図表 123 のとおり区分した。交換理由については、回収データに交換理由の記載があった事業者 1 社のみのデータを用いた。

貸与月数の最頻値については、最も交換が多く発生する貸与月数を明らかにするという観点から集計を行ったが、外れ値（極端に大きな値を取るデータ）による影響を除外できる点に利点がある一方、サンプル数が不十分であったり、交換件数が同数のデータが複数存在すると最頻値が定義できない等、指標として不適切な場合があるため、視覚的な判断ができるよう、貸与月数を基準に交換発生件数の分布を示すグラフを作成した。なお、グラフは、煩雑さを避け、要介護度に合わせた変化が可視化されるよう、軽度（要支援 1～要介護 1）、中等度（要介護 2, 3）、重度（要介護 4, 5）の 3 区分で作成した。

図表 121 集計項目とその分析の概要

形式	集計項目名	分析の概要
クロス集計表	交換件数、要介護度別の交換件数の割合	同一 TAIS コード商品への交換発生件数、および交換件数。また、全体に対し各区分の交換件数が占める割合の分布の集計。
	利用者数	福祉用具の種目別の利用者数の集計。
	貸与月数の最頻値	交換までの貸与月数のうち、最も多く集計された月数。
	交換理由※	交換時の交換理由の集計。
グラフ	交換件数と貸与月数のグラフ	交換件数等を、交換発生までの貸与月数を横軸としたヒストグラムとして可視化。なお、要介護度に合わせた変化が読み取れるよう、軽度（要支援 1～要介護 1）、中等度（要介護 2, 3）、重度（要介護 4, 5）の 3 区分で作成した。

※回収データに交換理由の記載があった事業者 1 社のデータを用いた。

図表 122 集計の区分

福祉用具の種目区分（13 区分）	要介護度区分（7 区分、3 区分）	
車いす	要支援 1	軽度（要支援 1～要介護 1）
車いす付属品※	要支援 2	
特殊寝台	要介護 1	
特殊寝台付属品※	要介護 2	中等度（要介護 2, 3）
床ずれ防止用具	要介護 3	
体位変換器	要介護 4	重度（要介護 4, 5）
手すり※	要介護 5	
スロープ		
歩行器		
歩行補助つえ		
徘徊感知機器		
移動用リフト		
自動排泄処理装置		

※に示した種目は図表 123 のとおり、さらに用途に合わせて分類した。

図表 123 付属品、手すりの用途による区分※

分類対象（3 種目）	区分
車いす付属品	シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション
	その他の車いす用品
	褥瘡予防クッション
	トレイ・車いす用テーブル
	バッテリー・充電器
	ブレーキ
	駆動ユニット
	シート、シートクッション、外転防止ブロックシート
	自走式階段昇降機
	背もたれ、背クッション、背あて
特殊寝台付属品	マットレス
	ベッド用サイド・レール、ベッド固定式起き上がり手すり
	ベッド用テーブル
	電動ギャッチベッド
	スライディングボード・スライディングマット
	ベッド延長装置
	簡易リフト
	脚延長装置
	作業用テーブル
	その他ベッド
	褥瘡予防マットレス及びカバー
手すり	床置き式起き上がり用手すり
	握りバー、握り
	手すり、支持用手すり
	トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む）
	平行棒・立位保持具

※公益社団法人 テクノエイド協会の分類コード（CCTA95）の区分を使用

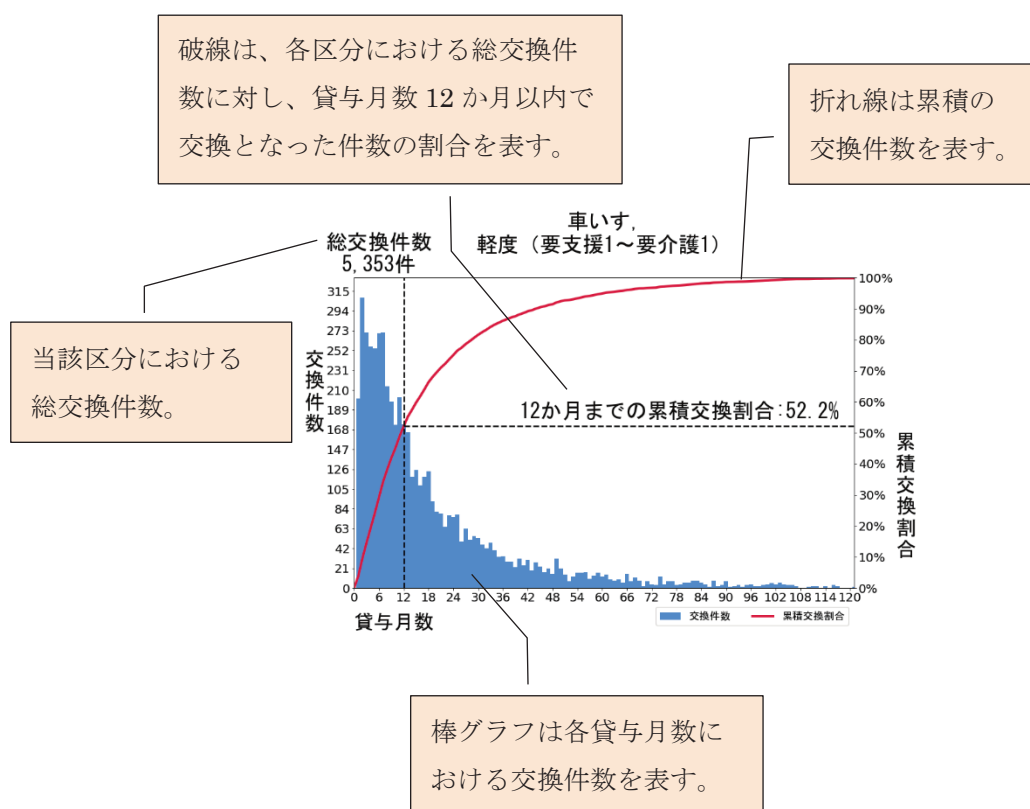
（２）結果の見方

図表 121 の集計項目の集計結果を各区分のクロス表として整理した。

グラフについては、煩雑さを避け、要介護度に合わせた変化が読み取れるよう、福祉用具の種目ごとに軽度（要支援 1～要介護 1）、中等度（要介護 2, 3）、重度（要介護 4, 5）の 3 区分とし、横軸に貸与月数（貸与開始から交換回収までの月数）を取り、左縦軸に交換件数、右縦軸に累積交換割合を記載した 2 軸グラフとして作成した。棒グラフは各貸与月数における交換件数、折れ線グラフは累積交換割合を示し、グラフ中の破線は、各区分における総交換件数に対し、貸与月数 12 か月以内に交換となった件数の割合を示す。また、左上に各要介護度区分の総交換件数を記載した。

なお、120 か月以上の貸与月数の交換は小数であったため、グラフは貸与月数 120 か月までを表示している。

【グラフの凡例】



5-3. データ分析結果

(1) 交換件数、要介護度別の交換件数の割合

図表 124～図表 127 のとおり、各区分ごとの交換件数、要介護度別の交換件数の割合を整理した。なお、要介護度別の交換件数の割合とは、福祉用具の種目ごとの総交換件数に対する要介護度別の交換件数の占める割合である。例えば、車いすの総交換件数は 48,267 件であるが、うち要支援 1 は 564 件のため、 $564 \div 48,267 = 1.2\%$ として求めた。いずれの要介護度で交換が多いかの指標となり得る。

図表 124 交換件数、および要介護度（7 区分）別の交換件数の割合

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
車いす	564 (1.2%)※	1,982 (4.1%)	2,807 (5.8%)	9,886 (20.5%)	10,603 (22.0%)	12,250 (25.4%)	10,175 (21.1%)	48,267 (100%)
車いす付属品	34 (0.3%)	245 (2.0%)	537 (4.3%)	2,002 (16.2%)	2,656 (21.4%)	3,596 (29.0%)	3,325 (26.8%)	12,395 (100%)
特殊寝台	42 (0.6%)	126 (1.8%)	243 (3.4%)	1,377 (19.2%)	1,179 (16.4%)	1,780 (24.8%)	2,431 (33.9%)	7,178 (100%)
特殊寝台付属品	504 (1.1%)	1,929 (4.1%)	3,351 (7.1%)	16,438 (34.9%)	12,049 (25.6%)	8,449 (17.9%)	4,419 (9.4%)	47,139 (100%)
床ずれ防止用具	23 (0.2%)	151 (1.3%)	321 (2.8%)	1,471 (12.8%)	1,709 (14.9%)	3,037 (26.4%)	4,778 (41.6%)	11,490 (100%)
体位変換器	1 (0.1%)	12 (0.7%)	16 (0.9%)	96 (5.6%)	110 (6.4%)	379 (22.1%)	1,101 (64.2%)	1,715 (100%)
手すり	968 (7.9%)	2,077 (17.0%)	2,707 (22.1%)	3,200 (26.2%)	1,964 (16.1%)	972 (8.0%)	337 (2.8%)	12,225 (100%)
スロープ	12 (0.5%)	79 (3.5%)	118 (5.2%)	344 (15.1%)	422 (18.5%)	644 (28.3%)	656 (28.8%)	2,275 (100%)
歩行器	4,569 (9.6%)	10,745 (22.6%)	10,756 (22.6%)	12,632 (26.6%)	5,905 (12.4%)	2,421 (5.1%)	528 (1.1%)	47,556 (100%)
歩行補助つえ	947 (8.1%)	2,508 (21.5%)	2,257 (19.4%)	3,436 (29.5%)	1,656 (14.2%)	668 (5.7%)	180 (1.5%)	11,652 (100%)
徘徊感知機器	0 (0.0%)	0 (0.0%)	81 (3.9%)	327 (15.8%)	682 (32.9%)	706 (34.1%)	277 (13.4%)	2,073 (100%)
移動用リフト	38 (1.3%)	150 (5.0%)	187 (6.2%)	727 (24.2%)	628 (20.9%)	610 (20.3%)	664 (22.1%)	3,004 (100%)
自動排泄処理装置	1 (0.6%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	16 (8.9%)	34 (19.0%)	53 (29.6%)	73 (40.8%)	179 (100%)
計	7,703 (4.1%)	20,004 (11.6%)	23,383 (10.0%)	51,952 (27.6%)	39,597 (18.6%)	35,565 (14.4%)	28,944 (13.7%)	207,148 (100%)

図表 125 交換件数、および要介護度（３区分）別の交換件数の割合

	軽度 (要支援 1～ 要介護 1)	中等度 (要介護 2, 3)	重度 (要介護 4, 5)	計
車いす	5,353 (11.1%)	20,489 (42.4%)	22,425 (46.5%)	48,267 (100%)
車いす付属品	816 (6.6%)	4,658 (37.6%)	6,921 (55.8%)	12,395 (100%)
特殊寝台	411 (5.7%)	2,556 (35.6%)	4,211 (58.7%)	7,178 (100%)
特殊寝台付属品	5,784 (12.3%)	28,487 (60.4%)	12,868 (27.3%)	47,139 (100%)
床ずれ防止用具	495 (4.3%)	3,180 (27.7%)	7,815 (68.0%)	11,490 (100%)
体位変換器	29 (1.7%)	206 (12.0%)	1,480 (86.3%)	1,715 (100%)
手すり	5,752 (47.1%)	5,164 (42.2%)	1,309 (10.7%)	12,225 (100%)
スロープ	209 (9.2%)	766 (33.7%)	1,300 (57.1%)	2,275 (100%)
歩行器	26,070 (54.8%)	18,537 (39.0%)	2,949 (6.2%)	47,556 (100%)
歩行補助つえ	5,712 (49.0%)	5,092 (43.7%)	848 (7.3%)	11,652 (100%)
徘徊感知機器	81 (3.9%)	1,009 (48.7%)	983 (47.4%)	2,073 (100%)
移動用リフト	375 (12.5%)	1,355 (45.1%)	1,274 (42.4%)	3,004 (100%)
自動排泄処理装置	3 (1.7%)	50 (27.9%)	126 (70.4%)	179 (100%)
計	51,090 (24.7%)	91,549 (44.2%)	64,509 (31.1%)	207,148 (100%)

図表 126 交換件数 (付属品、手すりの小分類)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
車いす 付属品	シート (座)・背もたれ・車いす用ベッド・クッション	13	131	362	1,423	2,030	2,761	9,193
	その他の車いす用品	9	40	49	84	70	114	568
	褥瘡予防クッション	3	23	60	267	317	463	1,513
	トイレ・車いす用テーブル	0	0	0	1	1	11	24
	バッテリー・充電器	0	5	1	11	3	1	25
	ブレーキ	4	19	34	93	136	85	430
	駆動ユニット	3	20	18	81	28	13	177
	シート、シートクッション、外転防止ブロックシート	0	7	13	33	66	107	335
	自走式階段昇降機	0	0	0	3	5	21	70
	背もたれ、背クッション、背あて	0	0	0	0	0	1	3
特殊寝台 付属品	マットレス	492	1,837	3,136	15,033	10,681	6,942	41,165
	ベッド用サイド・レール、ベッド固定式起き上がり手すり	9	50	126	826	815	879	3,409
	ベッド用テーブル	1	4	24	143	159	284	963
	電動ギャッチベッド	0	0	0	5	3	9	54
	スライディングボード・スライディングマット	0	0	0	6	28	35	98
	ベッド延長装置	0	0	1	1	2	3	10
	簡易リフト	0	0	0	0	3	1	8
	脚延長装置	0	0	0	2	3	3	13
	作業用テーブル	0	0	1	6	12	20	57
	その他ベッド	0	0	0	0	3	0	11
手すり	褥瘡予防マットレス及びカバー	0	22	16	104	98	104	410
	床置き式起き上がり用手すり	417	915	1,124	1,348	825	370	5,108
	握りバー、握り	78	206	377	549	452	278	2,059
	手すり、支持用手すり	312	586	725	815	369	182	3,033
	トイレ用簡易手すり (背もたれ付きを含む)	84	187	261	303	220	103	1,205
	平行棒・立位保持具	0	0	4	3	3	3	19
	計	1,425	4,052	6,332	21,140	16,332	12,793	69,960

図表 127 要介護度（7区分）別の交換件数の割合（付属品、手すりの小分類）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
車いす 付属品	シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション	0.1%	1.4%	3.9%	15.5%	22.1%	30.0%
	その他の車いす用品	1.6%	7.0%	8.6%	14.8%	12.3%	20.1%
	褥瘡予防クッション	0.2%	1.5%	4.0%	17.6%	21.0%	30.6%
	トレイ・車いす用テーブル	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	45.8%
	バッテリー・充電器	0.0%	20.0%	4.0%	44.0%	12.0%	16.0%
	ブレーキ	0.9%	4.4%	7.9%	21.6%	31.6%	19.8%
	駆動ユニット	1.7%	11.3%	10.2%	45.8%	15.8%	7.3%
	シート、シートクッション、外転防止ブロックシート	0.0%	2.1%	3.9%	9.9%	19.7%	31.9%
	自走式階段昇降機	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	7.1%	30.0%
	背もたれ、背クッション、背あて	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
特殊寝台 付属品	マットレス	1.2%	4.5%	7.6%	36.5%	25.9%	16.9%
	ベッド用サイド・レール、ベッド固定式起き上がり手すり	0.3%	1.5%	3.7%	24.2%	23.9%	25.8%
	ベッド用テーブル	0.1%	0.4%	2.5%	14.8%	16.5%	29.5%
	電動ギヤッチベッド	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	5.6%	16.7%
	スライディングボード・スライディングマット	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	28.6%	35.7%
	ベッド延長装置	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	30.0%
	簡易リフト	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%
	脚延長装置	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	23.1%
	作業用テーブル	0.0%	0.0%	1.8%	10.5%	21.1%	35.1%
	その他ベッド	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
手すり	褥瘡予防マットレス及びカバー	0.0%	5.4%	3.9%	25.4%	23.9%	25.4%
	床置き式起き上がり用手すり	8.2%	17.9%	22.0%	26.4%	16.2%	7.2%
	握りバー、握り	3.8%	10.0%	18.3%	26.7%	22.0%	13.5%
	手すり、支持用手すり	10.3%	19.3%	23.9%	26.9%	12.2%	6.0%
	トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む）	7.0%	15.5%	21.7%	25.1%	18.3%	8.5%
	平行棒・立位保持具	0.0%	0.0%	21.1%	15.8%	15.8%	15.8%
							31.6%

(2) 利用者数

図表 128、および図表 129 のとおり、利用者数を集計した。なお、利用者によっては分析対象期間中に要介護度が変化し、複数の要介護度で重複して集計する場合があるため、本分析では福祉用具の種目別の集計とした。

図表 128 福祉用具の種目別の利用者数

	利用者数
車いす	28,968
車いす付属品	7,124
特殊寝台	6,204
特殊寝台付属品	27,319
床ずれ防止用具	7,466
体位変換器	995
手すり	9,768
スロープ	1,674
歩行器	30,013
歩行補助つえ	6,847
徘徊感知機器	1,371
移動用リフト	1,945
自動排泄処理装置	74
計	99,911※

※ 統合データ全体の利用者数。同一の利用者が複数の福祉用具を利用している場合があるため、福祉用具の種目別の利用者数の和とは必ずしも一致しない。

図表 129 福祉用具の種目別の利用者数（付属品、手すりの小分類）

		利用者数
車いす 付属品	シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション	5,404
	その他の車いす用品	404
	褥瘡予防クッション	961
	トレイ・車いす用テーブル	23
	バッテリー・充電器	18
	ブレーキ	187
	駆動ユニット	94
	シート、シートクッション、外転防止ブロックシート	335
	自走式階段昇降機	44
	背もたれ、背クッション、背あて	3
特殊寝台 付属品	マットレス	24,540
	ベッド用サイド・レール、ベッド固定式起き上がり手すり	2,696
	ベッド用テーブル	865
	電動ギャッチベッド	45
	スライディングボード・スライディングマット	79
	ベッド延長装置	7
	簡易リフト	8
	脚延長装置	13
	作業用テーブル	52
	その他ベッド	10
	褥瘡予防マットレス及びカバー	199
手すり	床置き式起き上がり用手すり	4,232
	握りバー、握り	1,500
	手すり、支持用手すり	2,818
	トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む）	1,132
	平行棒・立位保持具	14

（３）貸与月数の最頻値

交換発生までの貸与月数のうち、最も多く集計された貸与月数（最頻値）を図表 130～図表 132 のとおり整理した。交換件数が 0 件の区分は最頻値を定義できないため、「-」と表記した。

なお、交換件数がほぼ同程度の貸与月数が複数存在する場合、最頻値のみでの全体の傾向の判断は不適切な場合があるため、（４）に示したグラフと合わせて考慮する必要がある¹。

図表 130 貸与月数の最頻値（要介護度 7 区分）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	全体
車いす	7	2	2	2	2	2	2	2
車いす付属品	6	5	7	7	3	3	2	3
特殊寝台	2	1	1	2	2	1	2	2
特殊寝台付属品	7	7	7	7	7	7	7	7
床ずれ防止用具	7	6	6	7	7	7	6	7
体位変換器	17	8	3	3	2	2	2	2
手すり	20	19	19	20	22	4	2	19
スロープ	1	2	4	2	9	7	6	7
歩行器	7	6	7	7	7	2	2	7
歩行補助つえ	7	7	6	7	7	7	2	7
徘徊感知機器	-※	-	1	2	2	2	2	2
移動用リフト	1	3	4	2	2	3	2	2
自動排泄処理装置	11	-	14	2	5	4	4	4

※交換件数が 0 であるものについては、「-」と表示。

¹ 例えば、「①貸与月数 2 か月、交換件数 10 件」、「②貸与月数 6 か月、交換件数 9 件」といったサービス種目が存在したとき、①が最頻値となるが、1 件の差で②も最頻値となり得たデータであり、ただちにこの福祉用具の貸与月数は総じて短いという判断はできない。

図表 131 貸与月数の最頻値（要介護度 3 区分）

	軽度 (要支援 1～ 要介護 1)	中等度 (要介護 2, 3)	重度 (要介護 4, 5)	全体
車いす	2	2	2	2
車いす付属品	7	3	2	3
特殊寝台	1	2	2	2
特殊寝台付属品	7	7	7	7
床ずれ防止用具	6	7	7	7
体位変換器	3	2	2	2
手すり	19	22	4	19
スロープ	2	8	7	7
歩行器	6	7	2	7
歩行補助つえ	7	7	6	7
徘徊感知機器	1	2	2	2
移動用リフト	3	2	2	2
自動排泄処理装置	11	2	4	4

図表 132 貸与月数の最頻値（付属品、手すりの小分類）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	全体
車いす 付属品	シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション	6	7	6	4	3	2	3
	その他の車いす用品	9	49	7	3	2	11	1
	褥瘡予防クッション	11	10	3	6	4	2	7
	トレイ・車いす用テーブル	-	-	4	35	3	50	3
	バッテリー・充電器	-	2	4	8	78	1	9
	ブレーキ	14	4	12	13	7	5	3
	駆動ユニット	6	3	1	2	10	1	2
	シート、シートクッション、外転防止ブロックシート	-	8	8	4	7	4	4
	自走式階段昇降機	-	-	1	7	7	1	2
	背もたれ、背クッション、背あて	-	-	-	-	35	11	※
特殊寝台 付属品	マットレス	7	7	7	7	7	7	7
	ベッド用サイド・レール、ベッド固定式起き上がり手す	1	8	7	2	7	2	2
	ベッド用テーブル	5	2	2	1	2	2	2
	電動ギヤッチベッド	-	-	-	11	16	8	41
	スライディングボード・スライディングマット	-	-	-	2	28	2	28
	ベッド延長装置	-	-	73	8	12	20	60
	簡易リフト	-	-	-	-	2	1	1
	脚延長装置	-	-	-	77	7	2	26
	作業用テーブル	-	-	30	3	3	26	3
	その他ベッド	-	-	-	1	-	4	4
手すり	褥瘡予防マットレス及びカバー	-	6	16	6	7	6	7
	床置き式起き上がり用手すり	19	19	19	20	22	27	22
	握りバー、握り	1	4	4	4	4	2	4
	手すり、支持用手すり	21	19	19	23	19	23	18
	トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む）	48	12	13	33	13	3	13
	平行棒・立位保持具	-	-	3	2	25	39	3

※すべての交換件数が等しいため、最頻値を定義できなかった。

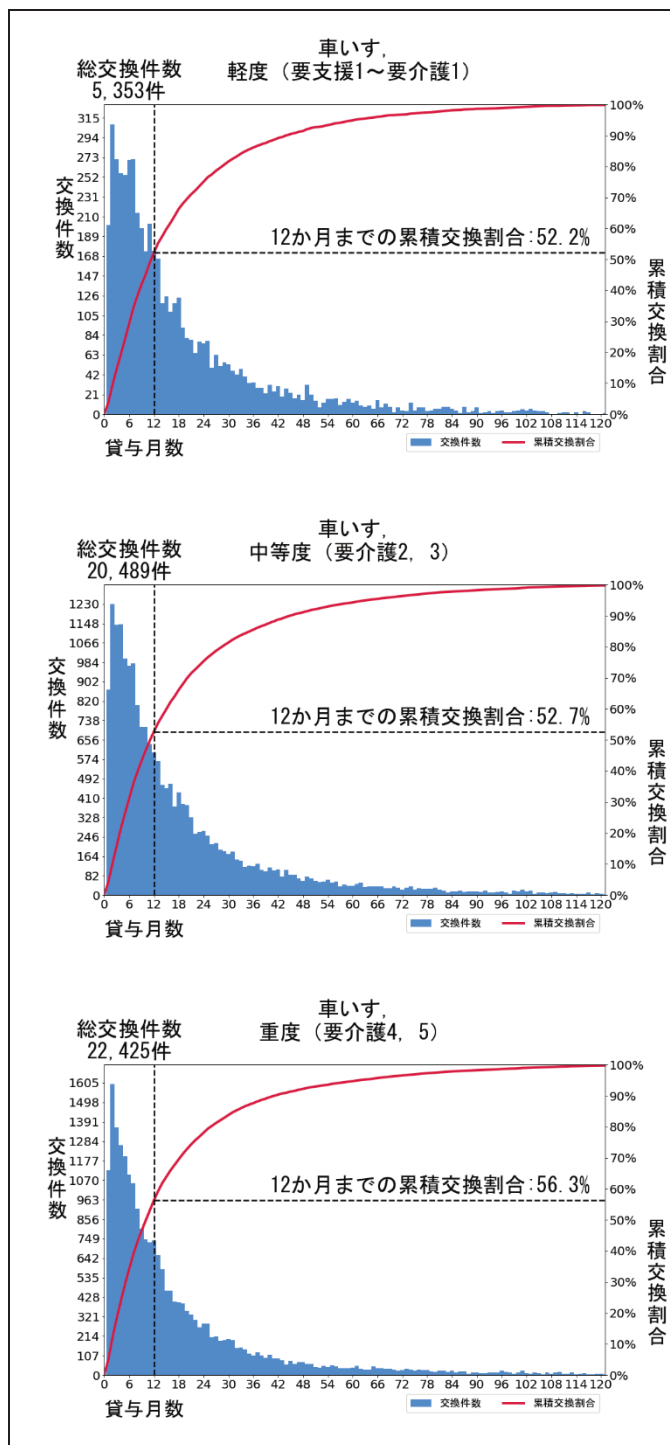
(4) 交換件数と貸与月数のグラフ

図表 133～図表 145 のとおり、福祉用具の種目別のグラフを示す。煩雑さを避け、要介護度に合わせた変化が読み取れるよう、福祉用具の種目ごとに軽度（要支援1～要介護1）、中等度（要介護2, 3）、重度（要介護4, 5）の3区分で作成した。

なお、付属品、手すりの小分類のグラフについては、参考資料とした。

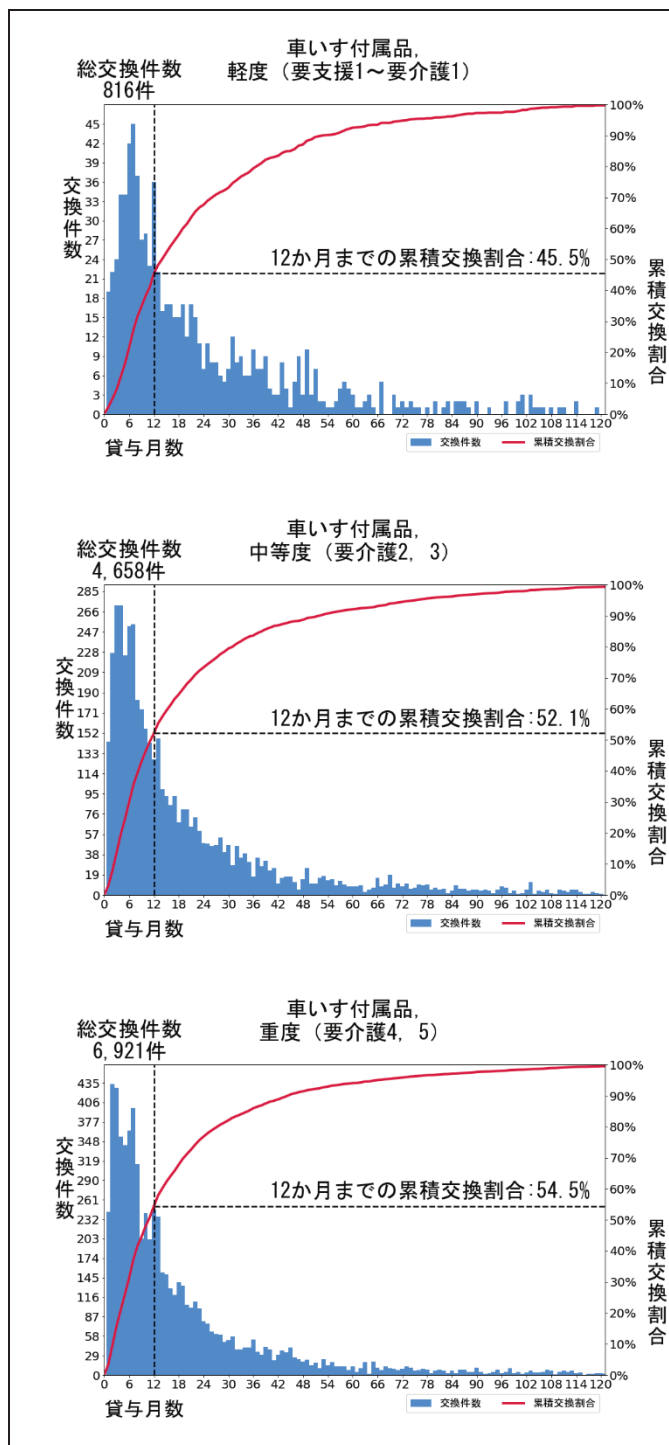
図表 133

車いすの要介護度別交換件数の分布のグラフ



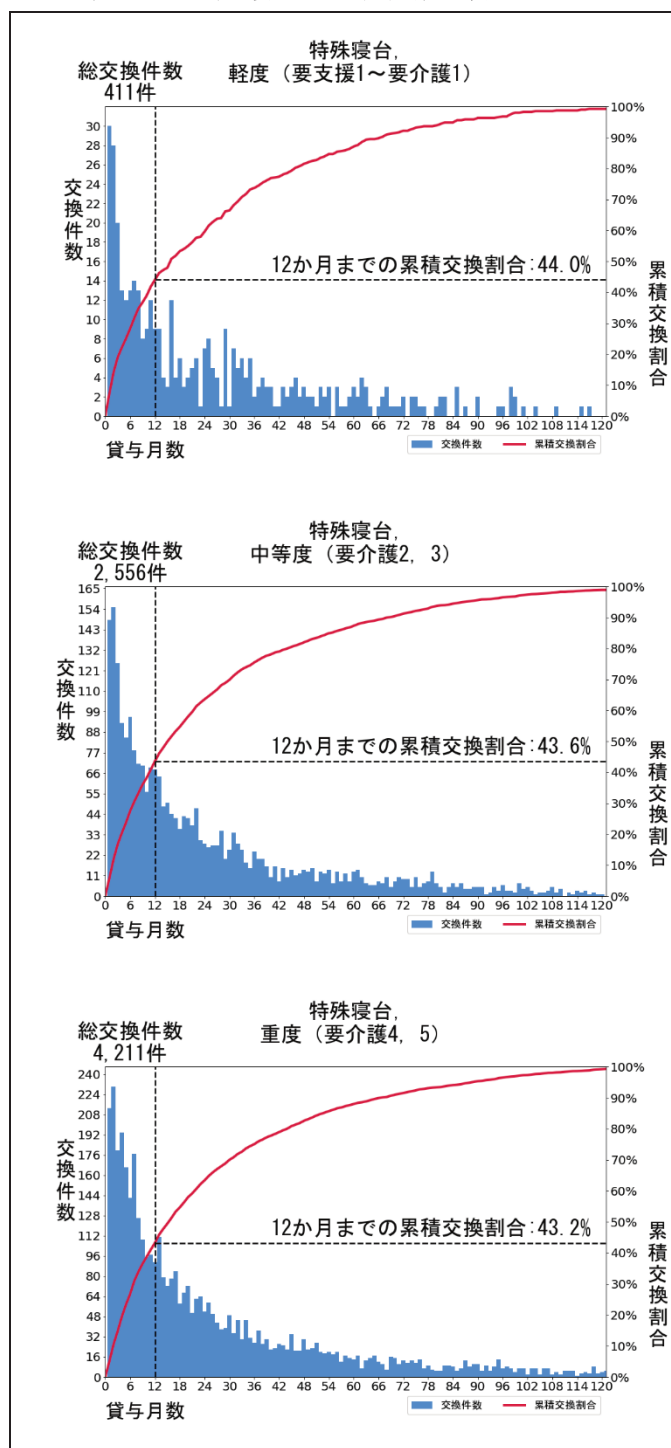
図表 134

車いす付属品の要介護度別交換件数の分布のグラフ



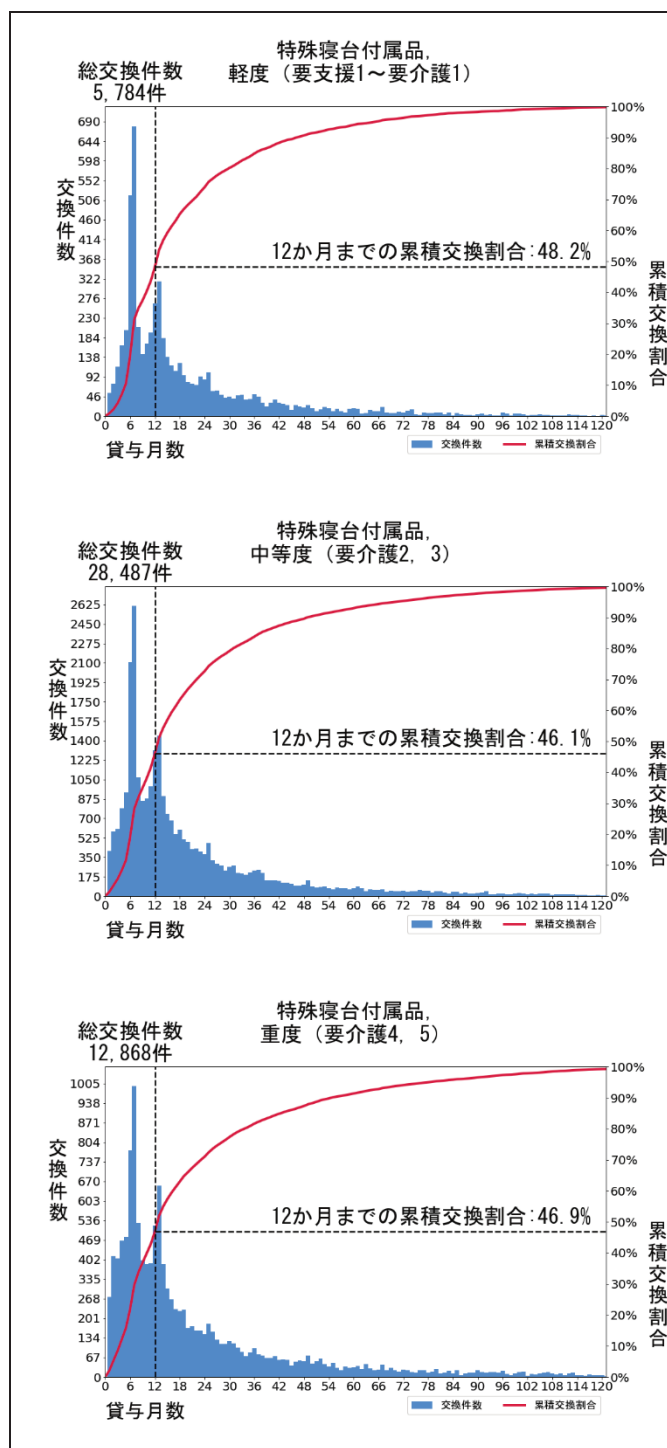
図表 135

特殊寝台の要介護度別交換件数の分布のグラフ



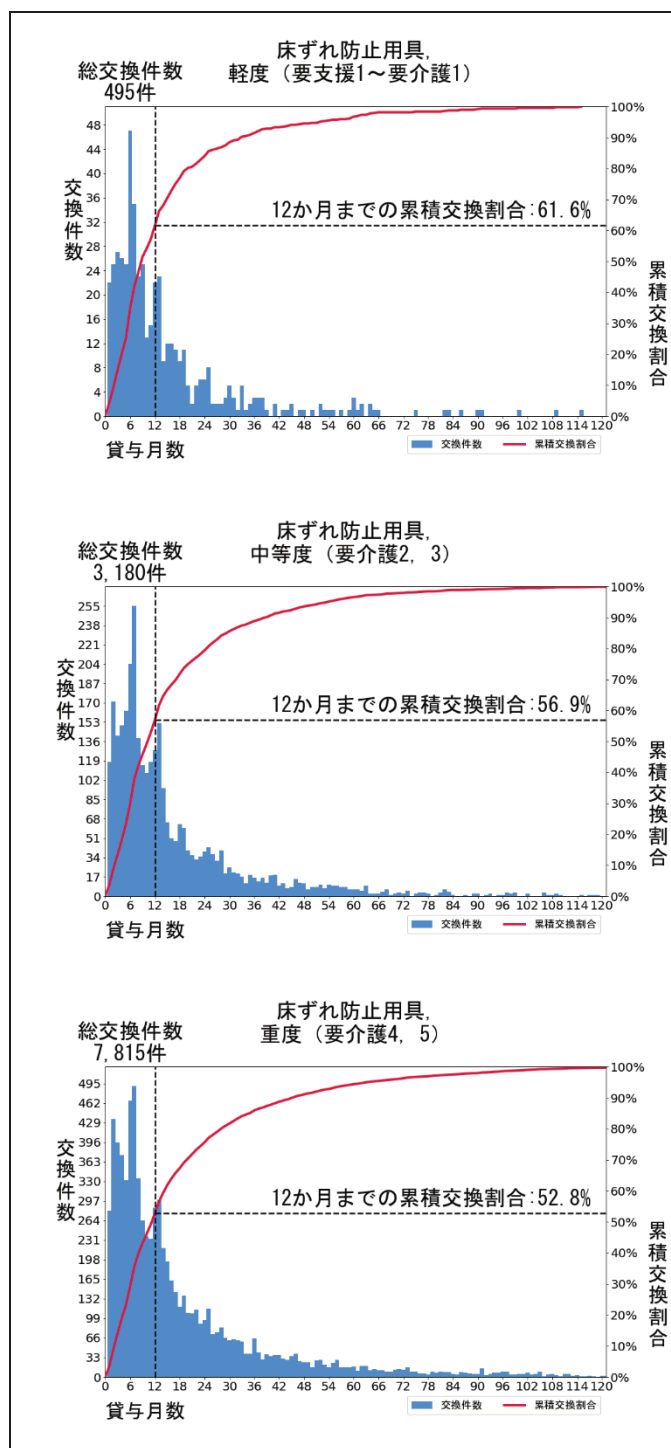
図表 136

特殊寝台付属品の要介護度別交換件数の分布のグラフ



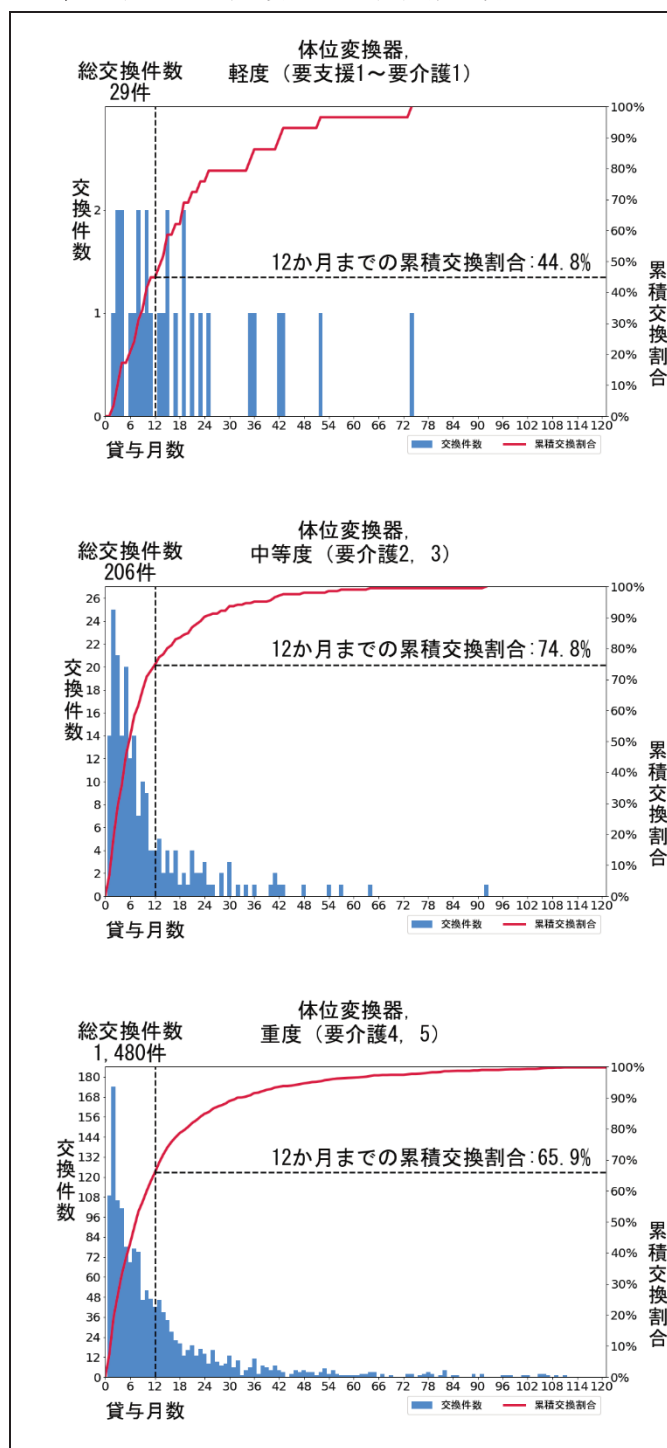
図表 137

床ずれ防止用具の要介護度別交換件数の分布のグラフ



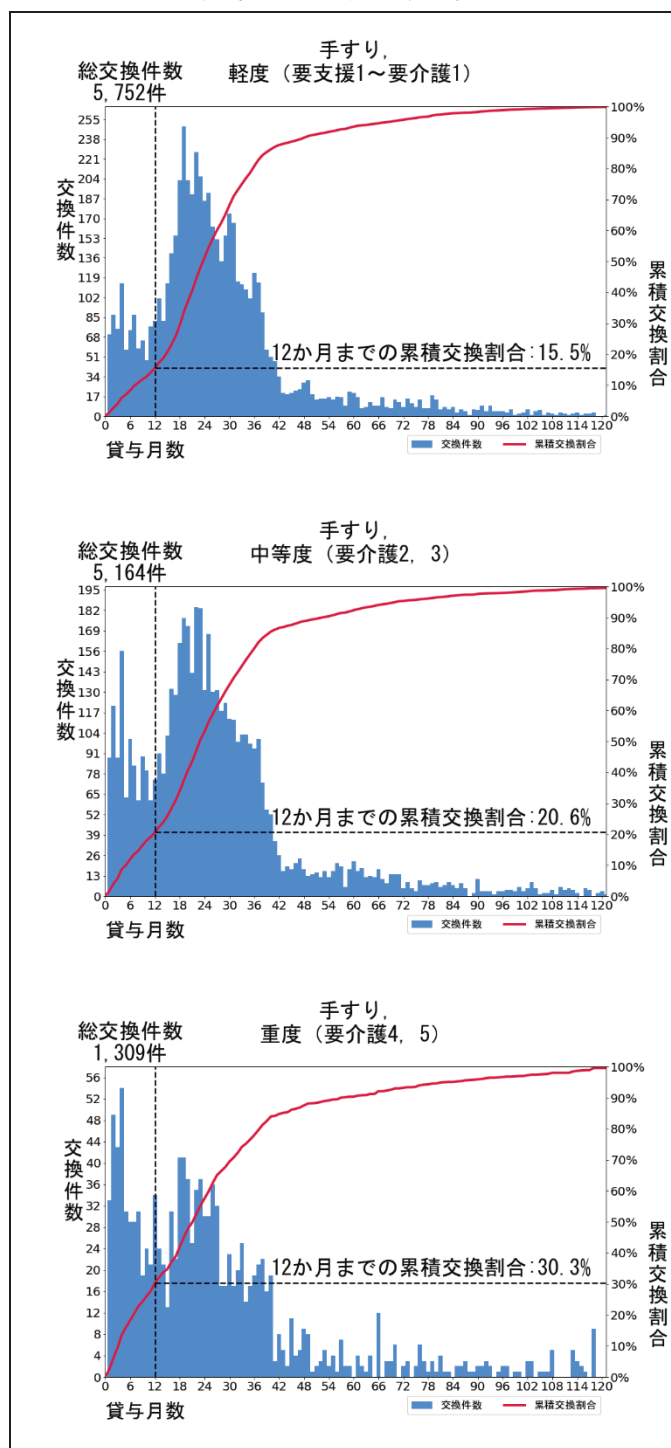
図表 138

体位変換器の要介護度別交換件数の分布のグラフ



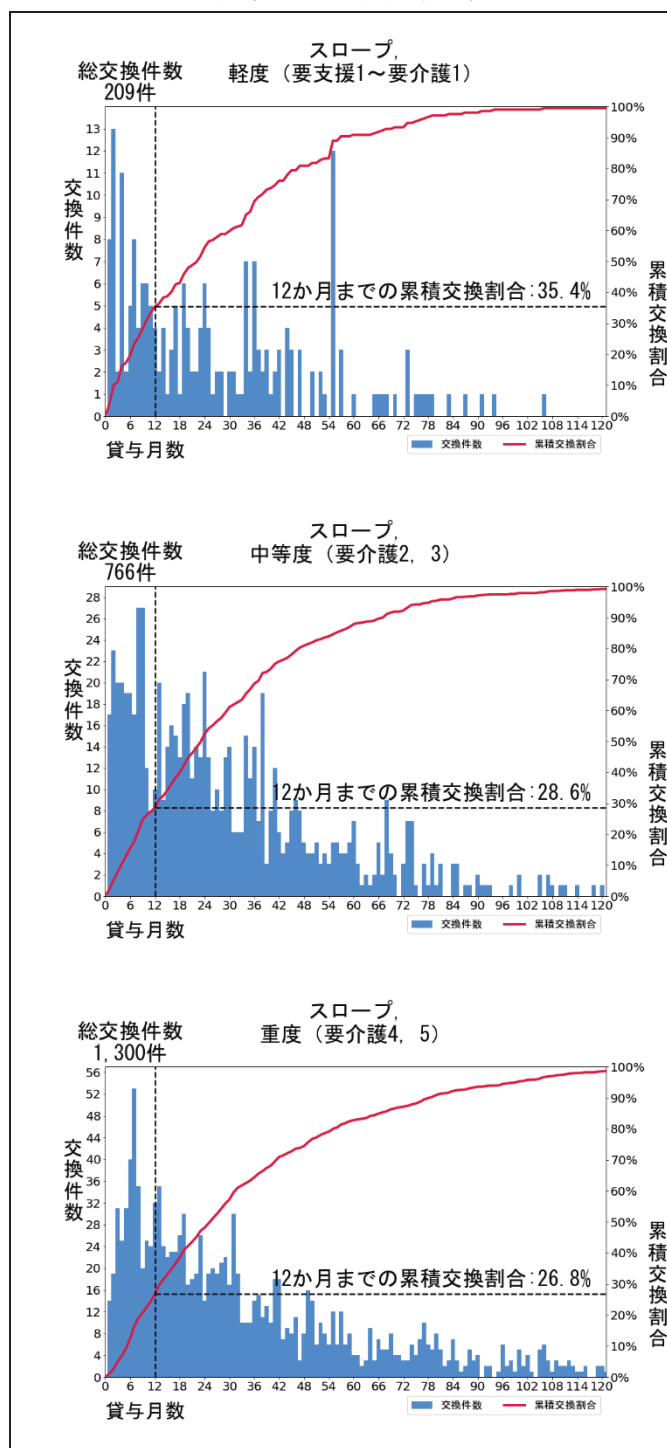
図表 139

手すりの要介護度別交換件数の分布のグラフ



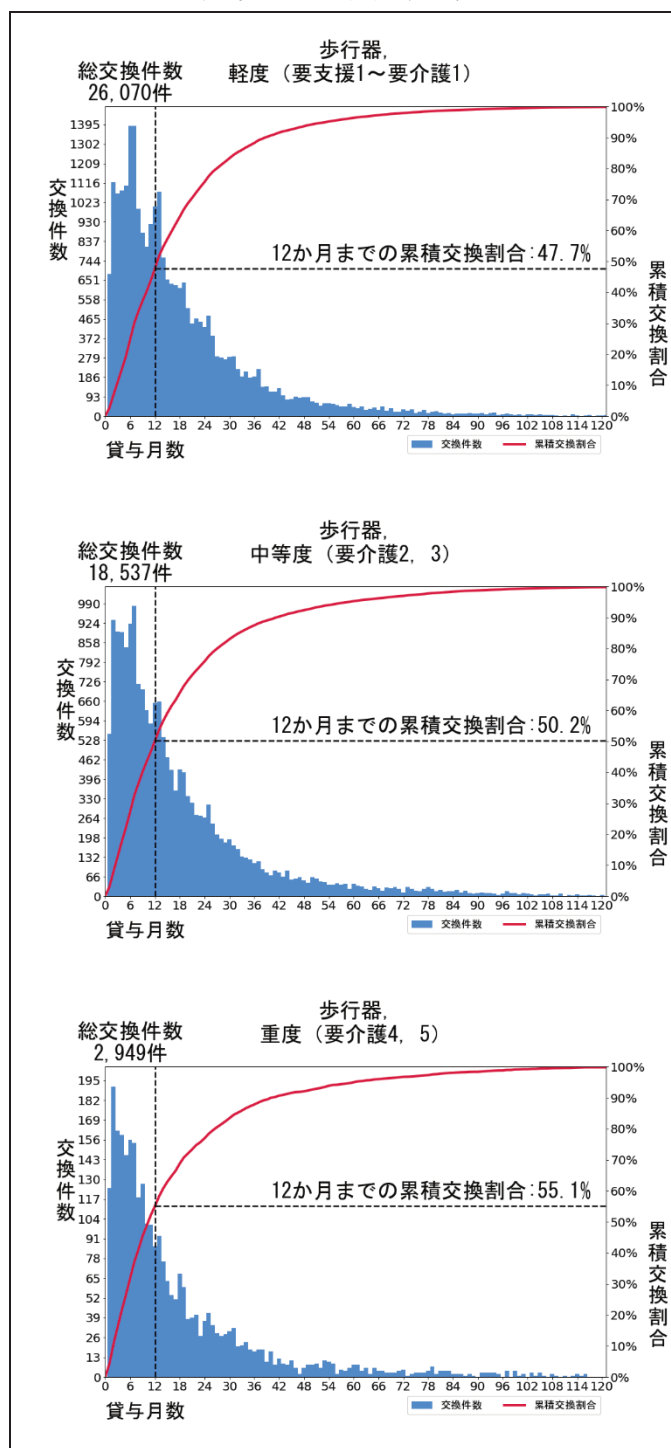
図表 140

スロープの要介護度別交換件数の分布のグラフ



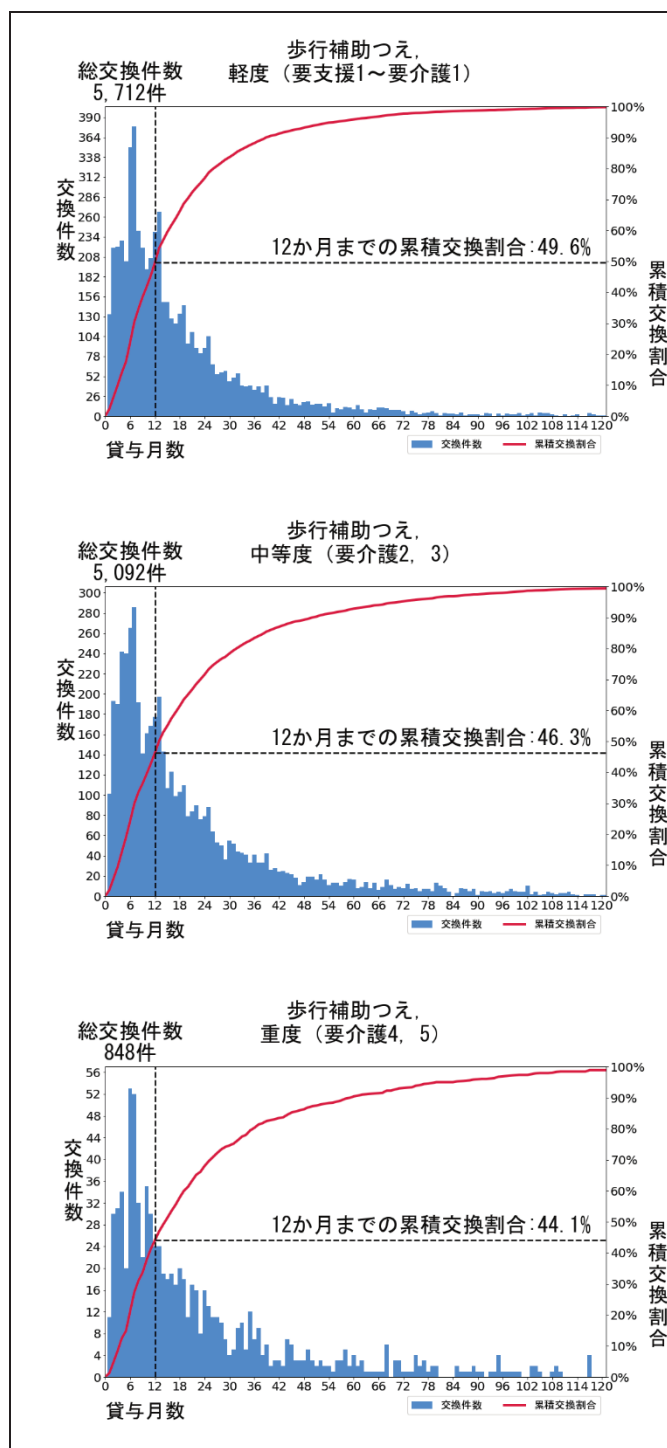
図表 141

歩行器の要介護度別交換件数の分布のグラフ



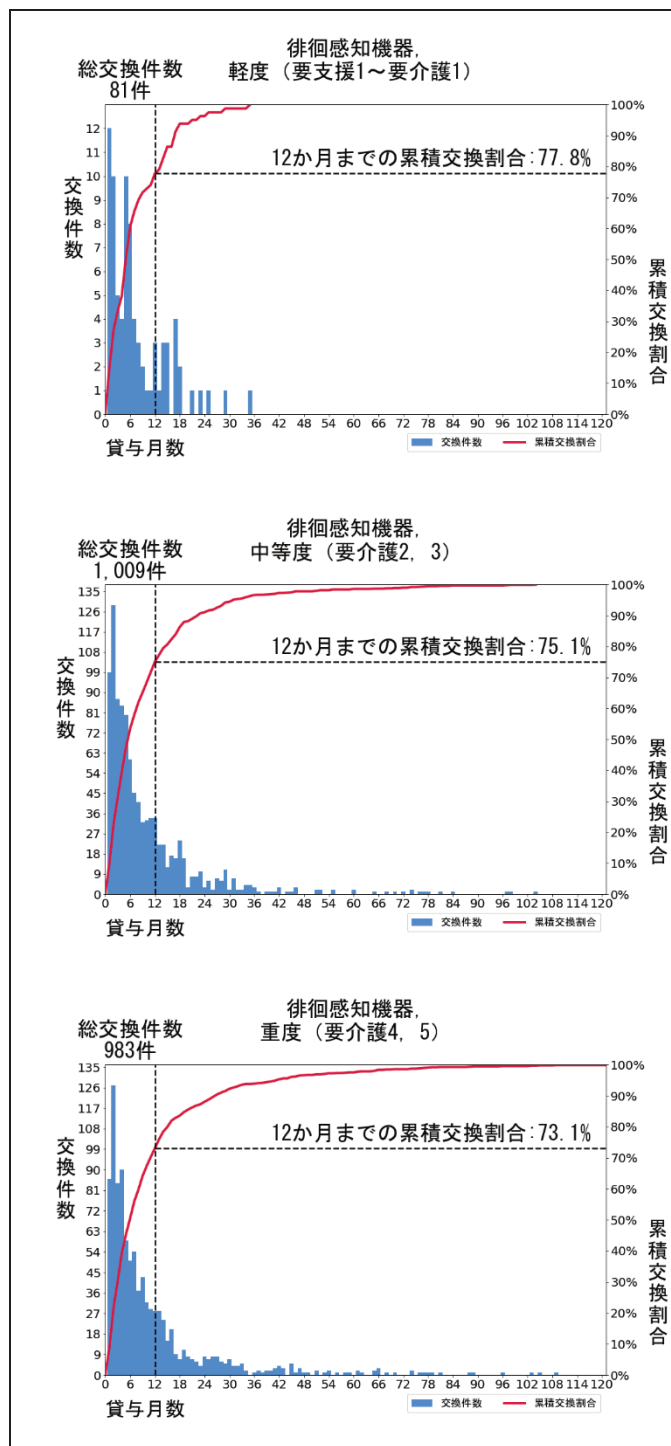
図表 142

歩行補助つえの要介護度別交換件数の分布のグラフ



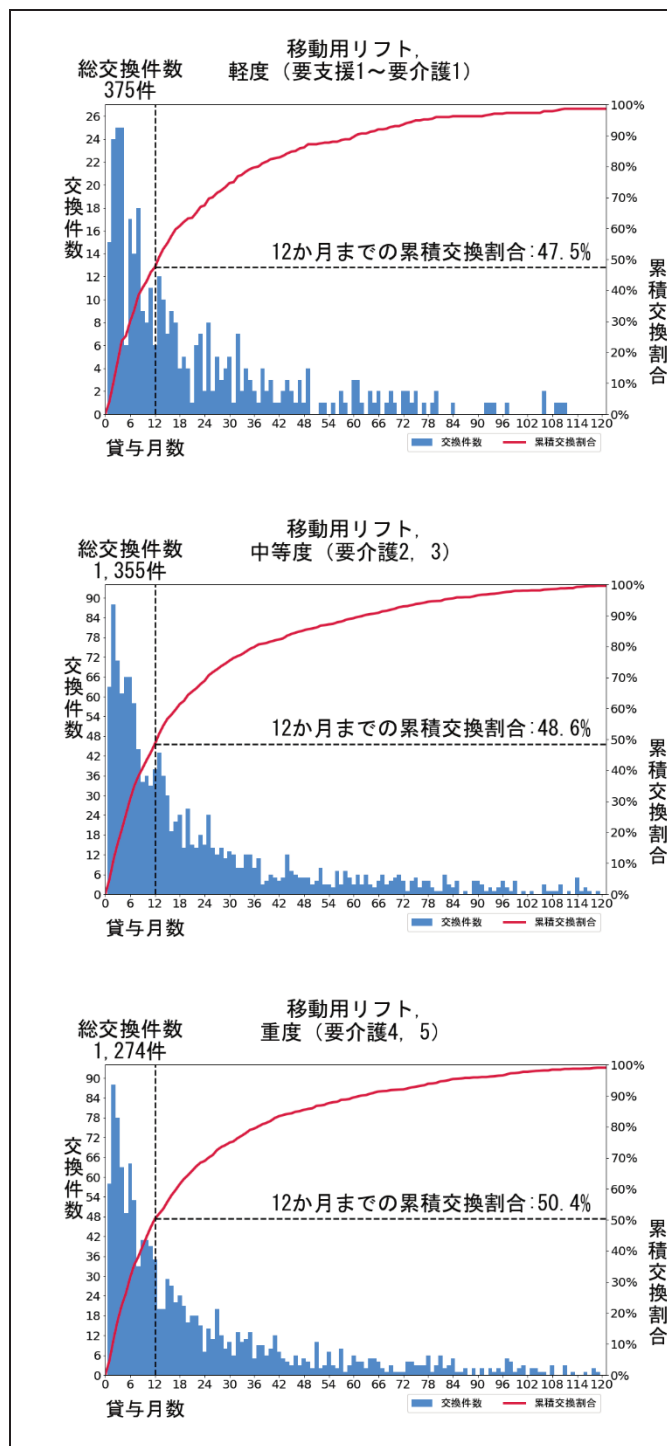
図表 143

徘徊感知機器の要介護度別交換件数の分布のグラフ



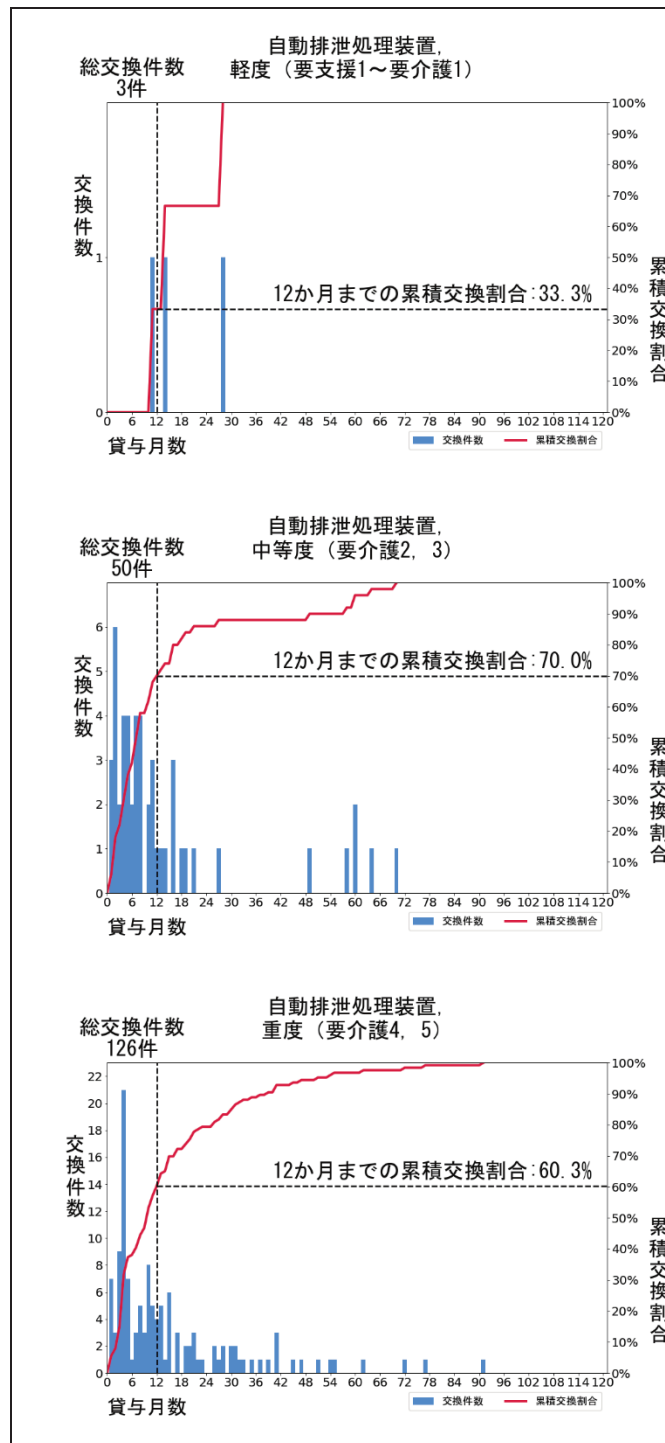
図表 144

移動用リフトの要介護度別交換件数の分布のグラフ



図表 145

自動排泄処理装置の要介護度別交換件数の分布のグラフ



(5) 交換理由

統合データに含まれる事業者のうち1社についてはデータに交換理由の記載があったため、その1社に限り交換理由別の交換件数等を整理した。交換理由の一覧は図表146のとおりである。また、交換理由別の交換件数、および割合を図表147、図表148に示す。

図表 146 同一 TAIS コード商品への交換理由

交換理由
摩耗
へたり
動作不良
破損
歪み
がたつき
ほつれ
汚れ
バッテリー消耗
空気漏れ
不具合
錆

図表 147 交換理由別の交換件数、および割合

	摩耗	へたり	動作不良	破損	歪み	がたつき	ほつれ	汚れ	バッテリー ー消耗	空気漏れ	不具合	錆
車いす	967 (99.7%)※	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.1%)	0	2 (0.2%)	0
車いす付属品	4 (1.6%)	194 (78.5%)	17 (6.9%)	17 (6.9%)	0	0	0	1 (0.4%)	0	14 (5.7%)	0	0
特殊寝台	0	0	21 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊寝台付属品	0	542 (92.3%)	42 (7.2%)	2 (0.3%)	0	0	0	1 (0.2%)	0	0	0	0
床ずれ防止用具	0	130 (54.2%)	110 (45.8%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体位変換器	0	20 (43.5%)	5 (10.9%)	0	0	0	21 (45.7%)	0	0	0	0	0
手すり	0	0	0	0	0	9 (90.0%)	0	0	0	0	0	1 (10.0%)
スロープ	2 (8.0%)	0	0	23 (92.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行器	960 (86.6%)	0	8 (0.7%)	0	141 (12.7%)	0	0	0	0	0	0	0
歩行補助つえ	186 (95.9%)	0	0	0	8 (4.1%)	0	0	0	0	0	0	0
徘徊感知機器	0	0	20 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動用リフト	0	0	70 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自動排泄処理装置	0	0	17 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()内の数字は、福祉用具の種目ごとの総交換件数に対する、各交換理由での交換件数の割合。例えば、車いすの総交換件数は 970 件であり、うち摩耗は 967 件のため、 $967 \div 970 = 99.7\%$ として求めた。

図表 148 交換理由別の交換件数、および割合（付属品、および手すりの小分類）

	摩耗	へたり	動作不良	破損	歪み	がたつき	ほつれ	汚れ	バッテリー消耗	空気漏れ	不具合	錆
車いす 付属品	シート（座）・背もたれ・ 車いす用パッド・クッション	160 (87.0%)	0	9 (4.9%)	0	0	0	1 (0.5%)	0	14 (7.6%)	0	0
	その他の車いす用品	4 (14.8%)	17 (63.0%)	5 (18.5%)	0	0	0	0	0	0	0	0
	褥瘡予防クッション	22 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トレイ・車いす用テーブル	0	0	3 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0
	シート、シートクッション、 外転防止ブロックシート	11 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊寝台 付属品	マットレス	538 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベッド用サイド・レール、 ベッド固定式起き上がり手すり	0	21 (95.5%)	0	0	1 (4.5%)	0	0	0	0	0	0
	ベッド用テーブル	3 (13.0%)	20 (87.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スライディングボード・ スライディングマット	0	0	2 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0
	作業用テーブル	0	1 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手すり	褥瘡予防マットレス及びカバー	1 (100%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	床置き式起き上がり用手すり	0	0	0	0	4 (100%)	0	0	0	0	0	0
	握りバー、握り	0	0	0	0	3 (100%)	0	0	0	0	0	0
	手すり、支持用手すり	0	0	0	0	1 (100%)	0	0	0	0	0	0
	トイレ用簡易手すり (背もたれ付きを含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (100%)

また、交換の結果及び照会から、用具別に考えられる交換要因について、以下の通り整理した。

【車いす】

車いすについては、中等度以上で交換割合が高く、最頻値は2か月と短く算出された。本分析における回収データ数の多かった2社に最頻値が2か月となる要因について照会した。

- ・ タイヤやブレーキパッドの摩耗を理由とした、定期的な交換が発生する。
- ・ システムの仕様上、部品破損（電動車いすの場合はバッテリー交換）や、シートベルトのサイズ調整等で交換が発生した場合においても車いす本体の交換伝票が発行されるため、同一TAIS商品への交換として抽出対象となった。

【車いす付属品】

車いす付属品については、中等度以上で交換割合が高く、車いすの交換割合と概ね整合が見られた。なお、「シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション」（図表 151）が車いす付属品全体に対し交換件数が最も多く、75%程度を占めている（12,338件中9,193件）。

要介護度が上がるにつれグラフのピークが左側へ近づき、最頻値が小さくなることから、交換までの貸与月数が短くなっていることが読み取れる。利用者の身体状況に合わせた交換や、クッション自体のへたりやエア一式の不具合、衛生面の維持の観点での交換が実施されている等の要因が考えられる。

【特殊寝台】

特殊寝台については、中等度以上で交換割合が高く、特に要介護5が最も多い結果となった。最頻値が1か月や2か月と短く算出されたため、車いす同様、本分析における回収データ数の多かった2社に照会した。

- ・ システムの仕様上、リモコンやモーターの故障、不具合による交換、ヘッドボードの種類や破損に伴う交換、固定脚からキャスター追加等の変更が発生した場合においても特殊寝台本体の交換伝票が発行されるため、同一TAIS商品への交換として抽出対象となった。

【特殊寝台付属品、床ずれ防止用具】

特殊寝台付属品、床ずれ防止用具については、いずれの要介護度でも最頻値が6か月または7か月となった。12ヶ月時点でも最頻値に次いでピークが見られ、半年や1年での定期的な交換を行っている事業者が存在するためと考えられる。なお、「マットレス」（（特殊

寝台付属品の小分類）（図表 161）が特殊寝台付属品全体に対し交換件数が最も多く、89%程度を占めている。

【体位変換器】

体位変換器については、重度で交換割合が高く、最頻値は2か月程度と短い。車いす付属品同様、衛生面の維持の観点での交換のほか、エアマットタイプの体位変換器のコントロールボックス、マットの不具合による交換が発生している等が考えられる。

【手すり】

手すりについては、軽度・中等度で交換割合が高い。また、グラフでは多峰性（分布の山が複数出現すること）が見られ、要支援1～要介護3では最頻値が20か月程度と長い一方、重度では4か月程度と短い傾向が見られた。分類別の分析結果を見ると、軽度・中等度では「床置き式起き上がり用手すり」（手すりの小分類）（図表 172）や「手すり、支持用手すり」（図表 174）の交換が多い一方、重度では「握りバー、握り」（図表 173）の交換が多い。床置き式起き上がり用手すり等は剛性が強く、設置面を保護するマットの交換も現地で行える一方、握りバーは手すり支柱内部に天井固定の際に強度を自動調整する内部構造を有することから、強度不足に伴うリスク回避のため交換頻度が高くなると考えられる。

【スロープ】

スロープについては、中等度以上で交換割合が高い。他の福祉用具に比べ交換件数の分布が広く、ばらつきが大きい特徴が見られた。屋内、屋外といった使用場所や、設置場所による使用頻度の差異でスロープ表面の滑り止め加工の劣化や摩耗状況に違いが生じるためと考えられる。さらに、重度では最頻値が6か月程度であることから、定期的な交換が発生している等が考えられる。

【歩行器、歩行補助つえ】

歩行器、歩行補助つえについては、いずれも軽度・中等度で交換割合が高く、最頻値は7か月程度であった。また、軽度・中等度では6ヶ月、および12ヶ月時点で多峰性が見られる。定期的な交換のほか、屋内・屋外での使用環境の違いや、屋外でも舗装面、悪路面、坂道などの使用環境によって車輪の摩耗やブレーキ等の故障頻度が異なるなど多種多様な利用状況が存在することが要因と考えられる。

【徘徊感知機器】

徘徊感知機器については、中等度以上で交換割合が高く、他の福祉用具に比べ、最頻値付近に交換が集中することがグラフより読み取れる。最頻値は2か月が多く、通信機能を

有する繊細な機器であることや、家屋の状況によって送受信の不具合が生じやすいことにより、頻繁な交換が発生すると考えられる。

【移動用リフト】

移動用リフトについては、中等度以上で交換割合が高く、裾が長い分布となっている。最頻値は2か月が多く、バッテリー交換が要因として考えられる。

【自動排泄処理装置】

自動排泄処理装置については、中等度以上で交換割合が高く、最頻値は4か月程度である。使用頻度や利用者・家族が行う普段のお手入れの状況によりセンサー感度、吸引機能に不具合が生じやすく、定期的な交換が発生していると考えられる。ただし、他の福祉用具に比べ交換回数の母数が少なく、数件の差で最頻値となる貸与月数が異なり得る点に注意が必要である。

5-4. 分析結果のまとめ

本分析では、当会の理事会社7社（うち、分析に用いたのは6社）の同一TAISコード商品への交換データに対し、交換件数、利用者数、交換までの貸与月数、交換理由等を分析した。

分析対象データの交換件数について、総交換件数は207,148件であり、福祉用具の種目別には、車いす（48,267件）、歩行器（47,556件）、特殊寝台付属品（47,139件）が上位3種目となり、全体の7割を占める結果であった。総利用者数は99,911人で、福祉用具の種目別には歩行器（30,013人）、車いす（28,968人）、特殊寝台付属品（27,319人）が上位3種目となり、件数の上位種目と一致する結果であった。

福祉用具の種目ごとの要介護度別の割合について、多くの種目で中等度（要介護2、3）から重度（要介護4、5）にかけて割合が高くなるが、歩行器、歩行補助つえ、手すりは軽度（要支援1～要介護1）で高い結果となり、要介護度に応じた利用の特徴が表れていると考えられる。

同一TAIS商品への交換までの貸与月数の最頻値については、2か月程度となる種目（車いす、車いす付属品、特殊寝台、体位変換器、徘徊感知機器、移動用リフト、自動排泄処理装置）と7か月程度となる種目（特殊寝台付属品、床ずれ防止用具、スロープ、歩行器、歩行補助つえ）に大別されたが、手すりについては19か月であった。また、スロープや移動用リフトでは貸与月数の分布のばらつきが大きく、同一の福祉用具でも使用場所、使用環境による違いがあると考えられる。貸与月数の最頻値が2か月程度となる種目については、衛生面の維持（車いす付属品、体位変換器等）や、繊細な機器（徘徊感知機器等）であるため、短期間での交換が発生すると考えられる。また、7か月程度となる種目のうち、特殊寝台付属品、床ずれ防止用具、歩行器、歩行補助つえについては12か月付近での交換件数も多くみられ、半年や1年での定期的な交換が行われていると考えられる。手すりについては、軽度・中等度で20か月程度、重度で4か月程度と貸与月数の最頻値が異なるが、前者は「床置き式起き上がり用手すり」や「手すり、支持用手すり」、後者は「握りバー、握り」の交換件数が多いことから、同一種目においても要介護度に応じた用具が提供されており、「握りバー、握り」についてはその特性から短期での交換となっていることが要因と考えられる。